

14195 ひたち学 Hitachi-lore		1年次～ 前期 2単位	
担当者	岩間 信之／島崎 和夫／岩間 英夫	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	
サブタイトル	ひたちー茨城県北部地域の活性化のために		
授業内容 ・ ねらい	<p>「ひたち学」とは、歴史や文化などの幅広い視点から茨城県北部地域〈ひたち〉を再認識し、そこから新しい〈ひたち〉のあり方を展望しようとする、学術的な試みである。</p> <p>〈ひたち〉は、これまでに何度も苦難を経験し、克服してきた経緯を持つ。古代以来、〈ひたち〉は多様な文化を受容しながら発展を続けてきた。近世初頭の佐竹家から水戸徳川家への領主交替でも地域社会の再編成・再構築が行われたし、近代になると日立鉱山や日立製作所を中心とした新しい鉱工業都市〈ひたち〉が誕生した。ここでも〈ひたち〉は新たな文化を受容し、多面的な社会を再構築した。近代〈ひたち〉の誕生の時、地域社会を分断するかも知れない大きな危機にみまわれた。煙害という公害の発生である。しかし、〈ひたち〉は地域住民と企業が一定の合意点を見だし、この危機を乗り越えることができた。このとき建設された「大煙突」は、近代〈ひたち〉のシンボルであり出発点である。さらに、第二次大戦期において、軍需産業に傾斜した〈ひたち〉は多大なダメージを受けた。しかし、〈ひたち〉は戦後平和産業を主軸とした工業都市として復活し、更なる発展を遂げている。</p> <p>これまで、「ひたち学」はシンポジウムを中心に議論を展開してきた。この講義では、より多くの人たちと「ひたち学」の知識を共有し、かつ議論の場を持つことを目的とする。講師は、茨城キリスト教学園資料センターの岩間英夫氏、日立市郷土博物館の島崎和夫氏、および本学文学部文化交流学科の岩間信之である。</p>		
授業計画	第1回：オリエンテーション 第2回：「ひたち学」の定義ー茨城県北部地域における自然環境の特性ー 第3回：気候、海流、植生、日立の位置 第4回：近代鉱業と地域社会との矛盾Ⅰ 第5回：近代鉱業と地域社会との矛盾Ⅱ 第6回：日立鉱山のまちづくり 第7回：日立製作所のまちづくりー企業城下町とはー 第8回：伝統社会と近代産業をつなぐもの	第9回：社会環境：日立鉱工業地域社会形成と内部構造Ⅰ 第10回：社会環境：日立鉱工業地域社会形成と内部構造Ⅱ 第11回：日本全体から捉えた日立鉱工業地域の位置と特性 第12回：世界・日本から捉えた日立の自然環境と鉱工業地域社会の内的要因 第13回：日立の自然環境と鉱工業地域社会の特性ー生態系の観点からー 第14回：21世紀における日立の基盤作り 第15回：全体討論	
教科書 参考書	毎回紹介する。		
評価方法	毎回の講義後に簡単な討論と小テストを実施し、評価とする。		
事前準備学習 履修条件等	最終講義（第15回）は全体討論にあてる。		